

## 凍結による給湯器の破損・故障にご注意ください

給湯器の凍結予防対策と  
修理や点検の依頼前に確認できる  
ポイント、万が一給湯器が破損した  
場合の対処方法をご案内します。



### 給湯器の凍結予防策

配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。

3つの予防策をご確認ください。

#### 予防策1

凍結予防ヒータと  
自動ポンプ運転による方法

外気温が下がるとヒータやポンプが自動作  
動します。

電源プラグは抜かず、風呂残り湯は循環金  
具より5cm以上、上にある状態にして下さい。

#### 予防策2

給湯栓から水を流す方法

真冬日など極端に寒くなる日や、風が強い  
場合は、予防策1では不十分です。

お湯の栓を開け、5円玉の中心穴分（直径  
約4mm）を出しっ放しにして下さい。

#### 予防策3

水抜きによる方法

停電時には、予防策1は機能しません。

お取扱説明書に記載をしています給湯器の  
水抜きして下さい。

## 故障かな？点検・修理前の確認ポイント

リモコンに雪だるまのマークや「凍結予防」の文字が表示された



故障ではありません。

予防策1の凍結予防運転が、

暖房やお湯を使っていないのに  
燃焼中（炎）のマークが表示された



自動作動をしています。

エラーコード **290** や **291**、  
**29** が表示された



**ドレン配水系等の凍結**が考えられます。

エラーコードは出ず、お湯が  
全く若しくは少量しか出ない



**水や湯、風呂配管の凍結**が考えられます。

## 給湯器が凍結したら

リモコンの電源を切り、自然に解凍するまでお待ちください。

水が出るようになったら、給湯器や配管から水漏れが無いか確認して下さい。

## 給湯器が破損してしまったら

型式と症状を確認しお客様センターへご依頼ください。



## リンナイお客様センター

フリーダイヤル

 **0120-054321**

ナビダイヤル

 **0570-550258**

携帯電話からはナビダイヤル(通話料が発生します)